

図書館に関する話題 第12回

文系図書の整備について

研究推進部学術情報課 齋藤 香織

附属図書館では、平成20年度から平成24年度の5年間にわたり、文系図書・資料の整備を行ってきました。整備の計画を立てるにあたっては、

(1) 叢書・コレクションの充実と叢書類の欠本補充、(2) 近年、本学で新たに設置された文系の学科・コースで、注目される学問分野の図書・資料の充実、(3) 近年世界的に注目が高まっているアジア（日本を含む）関係図書・資料の充実、を基本的な方針といたしました。

附属図書館では、毎年各部局の先生方10名以上に図書選定委員になっていただき、年に数回、担当分野を決めて学生用図書を選定していただいています。この方式は多様な分野の図書が選ばれるという利点がありますが、特定分野のまとまった資料を整備するには不向きです。一度に選べる金額に制限があるため、巻数の多いシリーズ物をまとめて購入することができず、その結果欠巻が出ることもなります。また、シリーズが完結する前に委員の先生が交替するということが起こりません。図書館職員が覚えていて新刊が出るごとに購入すればよいのですが、実際にはシリーズ新刊が何年も出ないことも珍しくなく、多くの分野のシリーズを捕捉するのは中々難しいものです。

この5年間で、約30名の先生方に資料選定のご協力をいただきました。整備した主な分野として

は、哲学、心理学、宗教、歴史、考古学、政治・行政、国際関係、法律、会計学、教育学、社会学、言語学、日本文学、英文学、等が挙げられます。大部分の資料は開架や書庫にそれぞれ組み込まれましたが、平成23年度の教職関係資料については、コーナーを新設し、まとめて配架しました。

当初は1年目の平成20年度に5年分の資料を選定し、その後は毎年見直しを行いつつ、計画に沿って資料を整備していくことになっていました。しかし、挙げられた資料のうち金額にして2割近くがデータベース・電子ジャーナルで毎年費用が発生するため、やむなく購入対象外となったこと、他の分野とのバランスを考慮して購入を見合わせたもの、予定どおりに刊行されないもの、あまりに高額または入手困難な古書など、様々な事情により、3～5年目も毎年新たな先生方に選定をお願いすることとなりました。結果的には、当初の予定より多くの分野をカバーすることになったかと思えます。

平成23年3月には中間報告として、平成20～23年度に整備した文系図書および平成21年度に整備した理系図書の目録を発行しました。最終報告として、今年中に5年分の目録を刊行する予定です。ぜひ、今後の図書館資料活用の参考にしていただければと思います。

(さいとう かおり)

年度	冊数	主な整備分野等
平成20年度	2,258	多分野
平成21年度	4,777	多分野
平成22年度	310	マイクロフィルム類
平成23年度	1,120	教職関係、女性学、考古学
平成24年度	3,119	国際関係、イギリス史・アメリカ史、会計学、政治・行政、言語学、近現代日本文学、アメリカ文学
合計	11,584	